

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	VENOM PANIC		投球者	徳江 和則		センター	平和島スターボウル	
RG	2.480	△RG	0.034	●ピン	★PAP	✕CG	■バランスホール	

テストボール：VENOM PANIC

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：VENOM SHOCK

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工

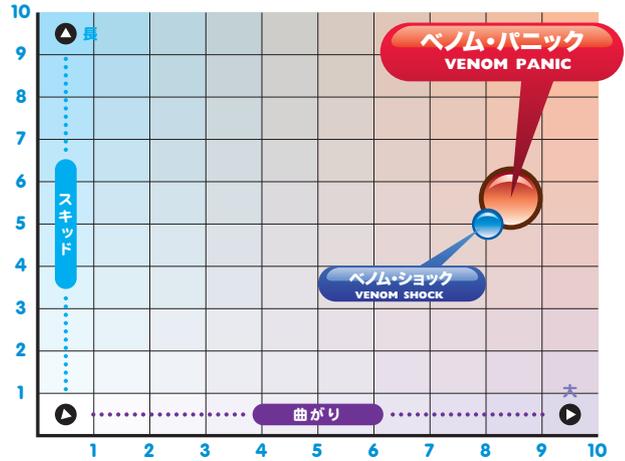
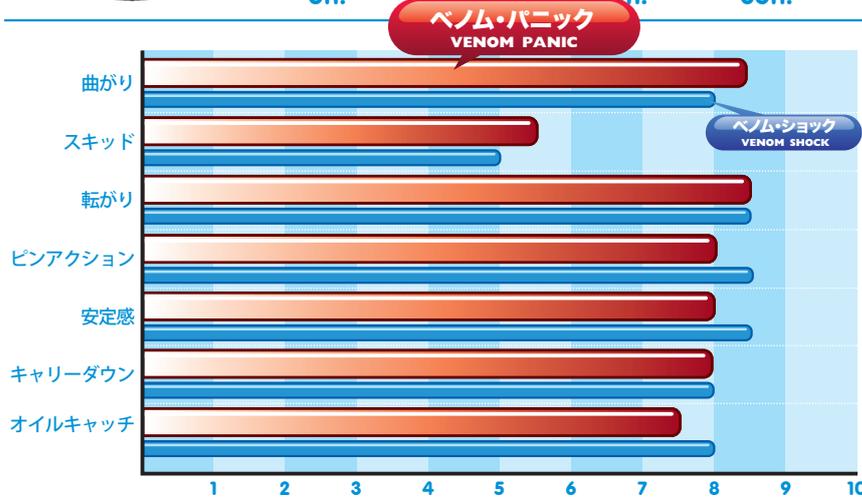
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

このたびMOTIV社から発売される最新作は低いRGの転がり感と低い△RGによる奥でのシャープな動きが特徴的なGear Coreを搭載したVENOM PANICです。なんと言ってもこのボールの最大の特徴は、今までのヘビーオイル適応ボールの概念を覆したJackalのTurmoil HFP (High Friction Pearl) ReactiveのMedium Coverstock領域のTurmoil MFP (Medium Friction Pearl) Reactiveが採用されているということでしょう。JackalのキャッチのイメージからのMFP Reactiveでかなりキャッチが前面に出るイメージも想像できますが、カラーリングに使われているPearl素材の影響もあり、キャッチを伴うスキッドとでも表現すればよいのでしょうか、キャッチが邪魔をしないMidium領域のスキッドは十分感じます。

VENOM SHOCKの時も感じたのですが、Gear Coreはフレア幅は狭く、良く転がりバックエンドでのシャープさがこのPANICでも感じられます。VENOM SHOCKのTurmoil MFS Reactiveとの比較投球ですが、Solid Reactiveを搭載しているSHOCKのほうがややスキッドは短く感じ、ミッドから徐々にブレーキがかかっているのに対し、PANICはPearlカバーの特徴のミッドを越えてからの奥での動きが強調されているように感じます。私の感じではVENOM SHOCKの曲りのイメージというよりはVENOM TOXINのカバーストックが強くなったイメージが印象にあります。

今やMOTIVブランドは国内のニーズではなく、国外でも2代ブランドに迫る勢いでパフォーマンス領域で勝負にできています。是非この機会に一度MOTIVブランドをお試しください。

特記事項

VENOM PANICはTurmoil MFP (Medium Friction Pearl) Reactive採用で走りとおの動きに磨きがかかり発売されます。Coral Pearlの独特なカラーリングで見た目も綺麗に仕上がっています。